

会 議 要 旨

(1 / 4)

| | |
|----------------|---|
| 会議の名称 | 令和7年度第2回川越市立博物館協議会 |
| 開催日時 | 令和8年2月19日(木) 午前10時00分 開会・午前11時50分 閉会 |
| 開催場所 | 川越市立博物館 会議室 |
| 議長(会長) | 山野清二郎(会長) |
| 出席委員 (人数) | 山野清二郎(会長)、能瀬さち子(副会長)、水谷薫(副会長)、 生駒義郎、矢部智史、島宗徹、松本紀美子、利根川勉、市川常善、 河合正雄、武成志、丹治清、水島明子(13人) |
| 欠席委員 (人数) | 國分洋祐、羽石明(2人) |
| 事務局職員 職 氏 名 | 中里館長、荻野副館長、伊藤副主幹、杉野副主幹、大澤副主幹、鈴木主任 |
| 会議次第 | <p style="text-align: center;">1 開 会</p> <p style="text-align: center;">2 議 事 (1) 令和8年度博物館事業計画(案)について</p> <p style="text-align: center;">3 その他</p> <p style="text-align: center;">4 閉 会</p> |
| 配布資料 | 令和7年度第2回川越市立博物館協議会 次第 令和7年度第2回川越市立博物館協議会 資料 等 |

議 事 の 経 過

1 開 会

2 議 事

(1) 令和7年度博物館事業計画(案)について

事務局から説明し質疑応答の結果、提案どおり承認された。

【意見・質疑応答】

令和8年度学芸担当事業計画

学芸担当事業計画について事務局から説明した。委員による詳細確認、質疑応答が行われた。主な意見は以下のとおり。

第53回企画展「旅ゆけば」の内容について

- 川越市立美術館等とのコラボレーションを検討してはどうか。
- 刀剣や浮世絵などに対して関心が高まっている。集客力が高いものを取り入れてはどうか。
- 現在の旅との比較を行い、来館者に共感性を持たせる部分を展示に取り入れてはどうか。

第34回收蔵品展「海防と川越の人々」(仮)

- 川越が三浦半島の東の部分の領地として江戸湾の海防していたことを知らない人は多い。そういうことを伝えていくことが大切である。

その他学芸担当事業

- 地域の文化芸能などの変化を記録しておくのが博物館の使命だと考える。

令和8年度教育普及担当事業計画

教育普及担当事業計画について事務局から説明した。委員による詳細確認、質疑応答が行われた。主な意見は以下のとおり。

- 博物館が教育普及担当事業として囲碁や茶道、香道をすることで、川越市でそれらを学び深める文化が育ってほしい。
- 博物館だけでは予算も人員も足りないが、他部署と連携してこども体験事業として行っている事業を大人向け・インバウンド向けに展開してはどうか。

(事務局)

ニーズを踏まえ今後検討していきたい。

議 事 の 経 過

- 博物館事業はP F I 事業になる流れになってきている。少しずつその流れに乗れるように、他部署・民間事業者との連携を模索していく姿勢が必要である。

(事務局)

博物館も他部署・民間事業者と連携して市を盛り上げるというイベント事業に関わっている。

- こども対象事業を実施する際、事業に関連付けて川越の歴史や川越の良さを来たこどもたちに教えてほしい。
- 若い人たちが歴史や文化に興味を持たなくなっている。

(事務局)

博物館は学校からの依頼でこどもに歴史や文化を伝える事業として出前授業という形で職員を派遣して授業を行っている。昨年度30件以上の実績がある。中学校の社会体験を年間で4・5校受入れている。博物館を体験先として選んだ生徒は資料の整理など、非常に興味を持って取り組んでくれた。中には、出前授業で見た資料をきっかけとして、資料に興味を持ち、社会体験として博物館を選んだ生徒もいた。

- バックヤードツアーなど、博物館に来て展示を見るだけでなく、博物館の業務を周知することも博物館に対する意識が高めることができるのではないか。
- 学習効果が高いのでフィールドワークは重要であると考え。参加費がかかってもよいので、実施してもらいたい。
- 博物館は事業実施のための予算も人員も足りていない。現状では委員の意見を反映させることは難しい。川越市として文化事業にどれだけ予算をつけるかは、市長や政策部局に訴えていかなければならない。

(事務局)

市長は歴史と文化を重要な要素と認識している。視察の際に、川越城本丸御殿のPR効果が高いので、併せて博物館も活性化したいとの発言もあった。博物館としても博物館と川越城本丸御殿をPRしていきたい。

- 観光客が川越のことを詳しく知りたい場合、どこにいけばいいのかわかりづらい。博物館ではどのような対応をしているのか。

(事務局)

博物館では展示解説員が解説している。川越城本丸御殿ボランティアによる解説がある。どちらも市ホームページやSNS等で周知している。

議 事 の 経 過

その他事業

委員による質疑応答が行われた。主な意見は以下のとおり。

- 協議会などの会議が少なくなっている。博物館として今後の博物館協議会の在り方をどう考えているのか。

(事務局)

企画や運営を考える上で市民の意見を聞くことは重要であるので協議会は続けていく。

3 その他

(事務局より説明)

蔵造り資料館店蔵耐震化工事の進捗・現地見学会開催について事務局から報告した。委員による詳細確認、質疑応答が行われた。主な意見は以下のとおり。

- 店蔵工事完了後、その他の蔵の工事に入るまでの期間の公開については検討しているか。

(事務局)

全体工事の完了まで時間がかかることから、店蔵の公開を予定している。公開するというところでよいか。

- 公開したほうがよい。公開範囲はどこまでか。

(事務局)

これまでは店蔵・添屋・二番蔵・三番蔵を公開していたが、全体の耐震化が完了していないため、二番蔵・三番蔵は立ち入りを禁止し、店蔵 1 階のみの公開である。店蔵内に帳場の再現展示を行う予定である。

- 受付人員が必要だと考えるが、入館料等の設定はどうする予定なのか。

(事務局)

入館料は検討中である。

- 公開範囲が狭くなったのであれば、入館料を従前どおりとるのは不公平ではないか。

4 閉 会